

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.35	隣接する崖に、小規模だが土砂崩れがあり、安全対策が必要な状態で今後の課題である。	施設外からの災害を予防することで安全に生活できる環境を整える。	市及び土地所有者に専門的な調査、必要な対策を相談する。	12ヶ月
2	No.45	浴槽が大きく、縁が幅広で跨ぎ難く、深さもある構造である為、入浴時の利用者様、介護職の双方に負担がある。	スムーズで安全な動作で入湯でき、気持ち良く過ごせる。	縁が跨ぎ難いので、福祉用具の利用を検討する。また、将来的には浴室及び浴槽の部分改修も検討する。	3ヶ月
3	No.54	居室を眠るだけに使用している利用者様が数名いらっしゃる。快適に過ごせているかという面で課題である。	全居室に椅子を設置し、好みの飾り付け等を行い、居室を眠るだけの部屋とせず、一人の時間を過ごせ、くつろげる空間にする。	利用者及びご家族に説明を行い、これまで使用していた馴染みのある椅子、ソファ・テーブルや家具・装飾品等を持ち込んで頂き、快適に過ごせる空間を造る。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。